

氷のスペリ台に歓声

'87日光氷の祭典

冬の一大イベントに成長した「日光氷の祭典」が、二月一日から中禅寺湖畔立木観音前駐車場で開かれました。一月三十一日の前夜祭には、県知事ご夫妻も出席し、色とりどりの照明に浮かぶ幻想的な氷の造形美にみとれていました。



日の日曜日は、モデル撮影会も行われるとあって県内外から八千人の観光客が押しかけ、高さ十二メートルのシンボルタワー「氷神」や、シャンデリアアトネルなどをバックにさかんにシャッターを切っていました。

大型バスで見学にきた外国人観光客は子供たちに混じって、長さ二十メートルもある氷のスペリ台にチャレンジ。本人やまわりの観客から笑いがこぼれていました。



文化財を守る

二社一寺で防火訓練

文化財防火デーの一月二十六日、国宝や文化財の宝庫、二社一寺で大がかりな防火訓練が行われました。

訓練には、二荒山神社をはじめ輪王寺、東照宮の自主消防隊や社寺文化財保存事務所、山内自警団など、十二団体二百二十人が参加。

二荒山神社の楼門付近から出火——という想定で行われ、発見、通報、放水など実践しながらの演習が繰り返されました。



福祉の心を育てる

福祉いろはカルタ取り大会

いい気持ち ゆずった席からこぼれる笑顔——。二月二日、日光小学校で「福祉いろはカルタ取り大会」が行われました。

この大会は、カルタ取りを楽しみながら福祉の心の育成に役立てようとして実施しているもので、今年で四回目。市内の七つの小学校から、各学年男女各一人づつの八十四人が参加。各学校で練習を積んだ児童たちとあって、ほとんどの子供が読み札の文を暗記しており、読み手が読み終わる前に「ハイ！」と、元気よく取り合っていました。

